

エコアクション21



環境経営レポート



2025 年 10 月 21 日 発行
(対象期間:2024 年 7 月～2025 年 6 月)

 土佐ガス株式会社

目 次

1. 組織の概要	3
2. 対象範囲	4
2-1.対象範囲	4
2-2.レポートの対象期間	4
2-3.環境経営レポートの発行日	4
2-4.作成責任者	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境管理組織体制	6
5. 環境経営目標	8
5-1.単年度目標	8
5-2.中長期目標	9
6. 環境経営計画	10
7. 環境経営目標の実績	12
7-1.本年度の実績	12
7-2.過去の実績	13
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	15
9. 次年度の取組内容	17
9-1.次年度の環境経営目標	17
9-2.次年度の環境経営計画	18
10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	20
11.代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	22

発 行 日 ： 2025 年 10 月 21 日

発行責任者 ： 環境管理責任者 久保 雅寛

次回発行予定 ： 2025 年 10 月頃

1. 組織の概要

【事業所名】 土佐ガス株式会社
 【代表者】 代表取締役 小松 亜弓

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 環境対策推進室 室長 久保 雅寛
 環境管理担当者 経理課 中山 礼子
 連絡先 TEL:088-882-3165
 FAX:088-884-9270
 E-mail:m_kubo@tosagas.co.jp

【事業活動】

LP ガス事業、上下水道工事事業、電気設備工事事業
 福祉用具貸与及び福祉用具販売事業、住宅改修事業、電力の小売り業

【事業規模】

設立年月日 昭和 38 年 10 月 16 日
 資本金 5千万円
 売上高・従業員数・延べ床面積

	売上高	従業員数	延べ床面積
2023 年 6 月	2,117.5 百万円	117 人	6,035.3 m ²
2024 年 6 月	2,121.1 百万円	122 人	6,035.3 m ²
2025 年 6 月	2,117.7 百万円	119 人	6,035.3 m ²

会計年度 2024 年 7 月 ～ 2025 年 6 月

事業所	所在地	従業員数	事務所の敷地面積	事務所の延べ床面積
本社	〒781-8121 高知市葛島2丁目3番75号	31 人	1575.9 m ²	2,102.8 m ²
横浜ガスセンター	〒781-0240 高知市横浜 721	48 人	2,914.4 m ²	1,654.9 m ²
佐川営業所	〒789-1202 高岡郡佐川町乙 1902 番地 6	11 人	1345.4 m ²	821.9 m ²
幡多支店	〒787-0010 四万十市古津賀1丁目 139 番地	7 人	755.5 m ²	577.1 m ²
あいこ	〒780-8077 高知市朝倉西町 1 丁目 10 番地 16	15 人	884.1 m ²	786.7 m ²
北萩町オート ガススタンド	〒780-8006 高知市萩町 1-7-27	3 人	892.1 m ²	21.3 m ²
窪川工場	〒786-0008 高岡郡四万十町榊山町 10-20	1 人	660.5 m ²	30.2 m ²
清水工場	〒787-0336 土佐清水市加久見 876 番地	1 人	714.1 m ²	10.0 m ²
宿毛営業所	〒788-0027 宿毛市港南台 2 丁目 9-16	1 人	789.2 m ²	30.0 m ²
合計		118 人	10,531.6 m ²	6,035.3 m ²

2. 対象範囲

2-1.対象範囲 ― 全社

土佐ガス株式会社	本社	高知県高知市葛島 2 丁目 3 番 75 号
土佐ガス株式会社	横浜ガスセンター	高知県高知市横浜 721
土佐ガス株式会社	佐川営業所	高知県高岡郡佐川町乙 1902 番地 6
土佐ガス株式会社	幡多支店	高知県四万十市古津賀1丁目 139 番地
土佐ガス株式会社	あいこ	高知県高知市朝倉西町 1 丁目 10 番地 16
土佐ガス株式会社	北萩町オートガスタンク	高知県高知市萩町 1-7-27
土佐ガス株式会社	窪川工場	高知県高岡郡四万十町榊山町 10-20
土佐ガス株式会社	清水工場	高知県土佐清水市加久見 876 番地
土佐ガス株式会社	宿毛営業所	高知県宿毛市港南台 2 丁目 9-16

対象事業:LP ガス事業、上下水道工事事業、電気設備工事事業、福祉用具貸与及び福祉用具販売事業、住宅改修事業、電力の小売り業
対象人員:118 人

2-2.レポートの対象期間

2024 年 7 月～2025 年 6 月

2-3.環境経営レポートの発行日

2025 年 10 月 21 日

2-4.作成責任者

環境管理責任者 久保雅寛

3.環境経営方針

当社は、やすらぎと感動のあるくらしの創造と提供を経営理念に掲げています。

環境問題への対応が叫ばれる中、当社はこれを重要な課題として認識し、

エネルギー供給事業者として事業活動全体における環境負荷の低減

及びエネルギーの効率的利用に取り組み、

安全で豊かな環境を次世代につなげ、環境経営の継続的改善を行います。

以下の行動指針を全社員に周知徹底し、一丸となって環境保全活動に取り組み環境負荷の軽減に努めます。

また、その環境経営レポートをインターネットを通じ公開します。

1. CO2排出量の削減

- ・環境配慮商品の普及に取り組みます。
- ・環境にやさしい車を使用し、燃費向上に努めます。
- ・エコドライブを実践し、燃料節減に努めます。
- ・オフィスでの節電に努めます。

2. 廃棄物の削減

- ・事業活動に伴い生じる廃棄物を削減し、分別を徹底すると共に再資源化を推進します。

3. 水使用量の削減

- ・オフィスでの節水に努めます。

4. 環境関連法規制の遵守

5. グリーン購入

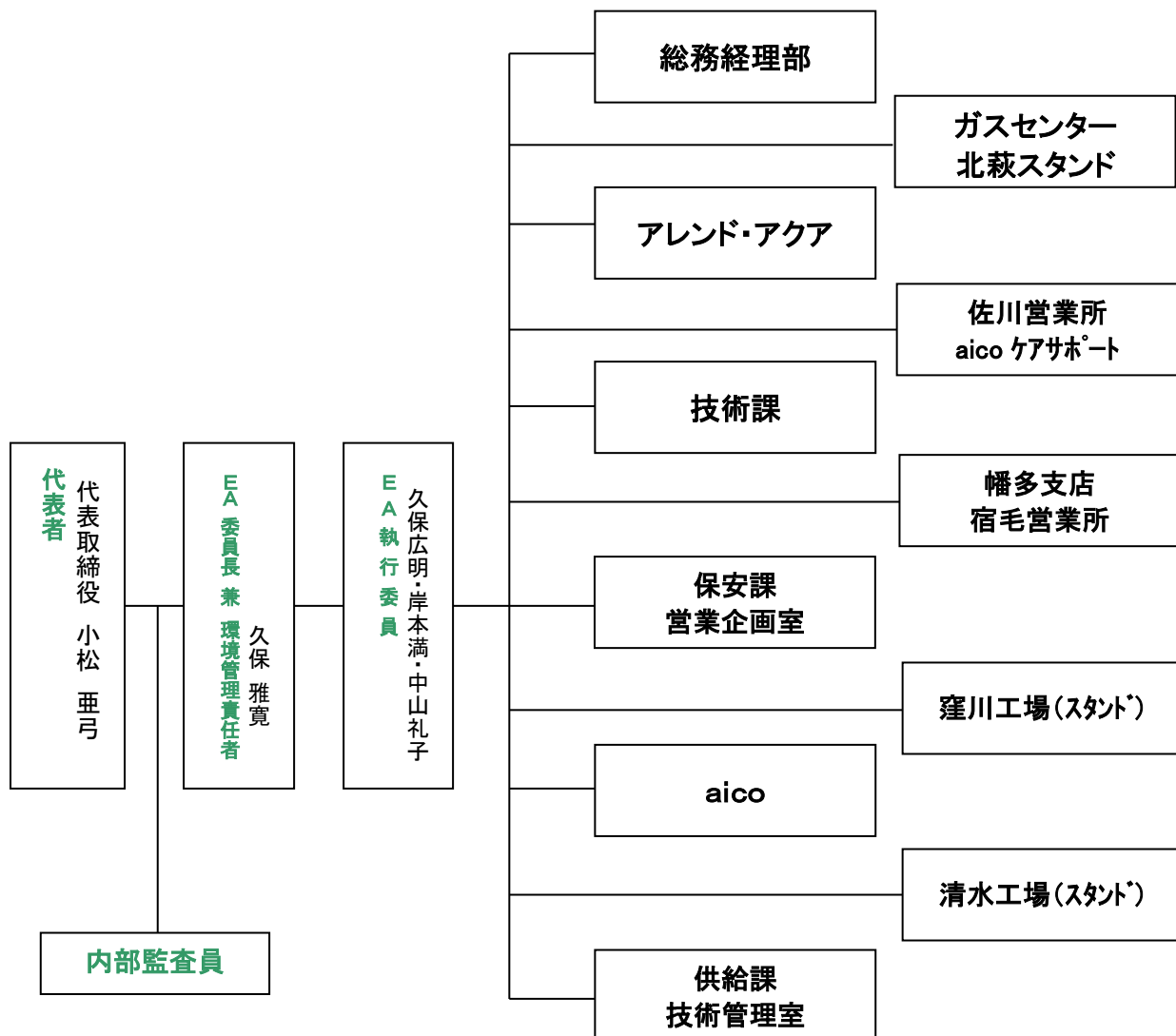
- ・環境物品を選び購入するように努めます。

2023 年 9 月 1 日改定

土佐ガス株式会社

代表取締役 小松 亜弓

4.環境管理組織体制



役職	責任及び権限
代表者	- 環境経営に関する統括責任 - 環境管理責任者の選任 - 代表者による経営における課題とチャンスの明確化 - 環境経営方針の策定、見直し及び全社員へ周知 - 環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制の承認 - 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 - 環境経営レポートの承認 - 経営資源(人(時間、技能、知識)、もの(設備、インフラ)、資金(設備投資、教育投資)、情報(顧客ニーズ、技術情報)など)を用意する
EA委員長 兼 環境管理責任者	- 環境経営システムの構築・実施・管理 - 環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制の確認 - 環境経営システムの評価と見直し及び代表者への報告 - 環境関連法規等とりまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境経営レポートの確認
EA執行委員	- 環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェック実施 - 環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制の策定及びとりまとめ - 各データの集計 - 環境経営レポートの作成と公開 - 外部コミュニケーションの窓口 - 環境関連法規等とりまとめ表の作成
EA委員	- 環境経営計画の実施及び実施状況の報告 - 各部署内での周知及び教育と、環境経営システムの実施管理 - 各部署内での問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査員	内部監査の実施
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を理解し、行動する

3ヶ月に一度(10月・1月・4月・7月)定例会を開催する。
支店、営業所は、年2回(11月・5月)定例会を開催する。

5.環境経営目標

前年度、基準年及び目標数値の見直しを行い、2021 年 7 月～2022 年 6 月までの実績を基準データとして目標数値を定め取り組んでおります。ガソリンとLPGのハイブリッド車の導入を推進してきましたが、不具合などの問題が発生してきたため、今後はガソリン車の導入へと転換しています。LPGの使用が徐々に減少してくると予測され、状況を見ながら基準値の見直しを行う予定です。

5-1.単年度目標

項目		基準データ 2021.7～2022.6	2024 年度 目標 2024.7～2025.6
環境配慮商品の設置割合(%) ※1		68.0	74.0
購入電力(kWh)		262,383.0	258,080.0
化石燃料	LPG 使用量(kg)	204,860.1	198,993.0
	ガソリン使用量(リットル)	21,464.6	21,080.0
	軽油使用量(リットル)	1,849.0	1,811.0
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) ※2		961,881.2	927,706.6
一般廃棄物排出量(t)		12.7	12.1
産業廃棄物排出量(t)		167.7	163.7
産業廃棄物 再資源化率(%)		46.4	85.0
水使用量(m ³)		2,152.0	2,087.0
グリーン購入(%) ※3		62.5	63.5

※1 環境配慮商品は、太陽光発電、ガスコジェネレーション(エコヘイ、エネファーム)、給湯器、コンロ等であり、総設置台数に対する割合である。

※2 購入電力のCO₂ 排出係数は、2018 年 12 月 27 日公表の四国電力の調整後排出係数 0.535(kg-CO₂/kWh) を使用した。

※3 グリーン購入の目標には、コピー用紙を含む。

※4 CO₂ 排出量には、残ガス分を含む。

5-2.中長期目標

項目		基準データ 2021.7～ 2022.6	2024 年度 2024.7～ 2025.6	2025 年度 2025.7～ 2026.6	2026 年度 2026.7～ 2027.6
環境配慮商品の設置割合(%) ※1		68.0%	74.0%	76.0%	78.0%
購入電力(kWh)		262,383.0	258,080.0	256,790.0	255,510.0
化石燃料	LPG 使用量(kg)	204,860.1	198,993.0	197,157.0	195,321.0
	ガソリン使用量(ℓ)	21,464.6	21,080.0	20,960.0	20,840.0
	軽油使用量(ℓ)	1,849.0	1,811.0	1,800.0	1,789.0
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) ※2		961,881.2	927,706.6	921,302.3	914,902.5
一般廃棄物排出量(t)		12.7	12.1	11.7	11.6
産業廃棄物排出量(t)		167.7	163.7	162.4	161.1
産業廃棄物 再資源化率(%)		46.4	85.0	86.0	87.0
水使用量(m ³)		2,152.0	2,087.0	2,067.0	2047.0
グリーン購入(%) ※3		62.5%	63.5%	64.0%	64.5%

基準データを 2021 年度に変更しました。

※1 環境配慮商品は、太陽光発電、ガスコジェネレーション(エコヘイ、エネファーム)、給湯器、コンロ等であり、総設置台数に対する割合である。

※2 購入電力のCO₂ 排出係数は、2025 年 3 月 18 日公表の四国電力の調整後排出係数 0.457(kg-CO₂/kWh) を使用した。

※3 グリーン購入の目標には、コピー用紙を含む。

※4 CO₂ 排出量には、残ガス分を含む。

6.環境経営計画

CO₂排出量の削減、廃棄物の削減及び水使用量の削減等を目的として、次のような取組みを行ってまいります。
対象期間:2024 年 7 月 1 日 ～ 2025 年 6 月 30 日

目標	具体的活動計画	担当者	期限
環境配慮商品の販売・工事、及び PR	床暖房によるウォームシェアの推進	小松・久保	2025.6.30
	ガスコジェネレーション(エネファーム)	小松・久保	2025.6.30
	高効率ガス給湯器、ハイブリッド給湯器	小松・久保	2025.6.30
	Si センサー内蔵型コンロ	小松・久保	2025.6.30
	太陽光発電、V2H、蓄電池	小松・久保	2025.6.30
	節水型トイレ商品	小松・久保	2025.6.30
	LED 照明商品	小松・久保	2025.6.30
CO ₂ 排出量の削減	LPG を継続して使用する	総務課	2025.6.30
	エコドライブの徹底	各部署EA委員	2025.6.30
	オイル交換の実施を徹底する	車輛を有する 担当責任者	2025.6.30
	照明器具は LED を使用する	各部署EA委員	2025.6.30
	使用していない電灯、電化製品を消す	各部署EA委員	2025.6.30
	電灯等の消し忘れチェックシートを利用	各部署EA委員	2025.6.30
	無理・無駄のない空調器の使用	各部署EA委員	2025.6.30
	クールビズ・ウォームビズを推奨し、エアコンの使用を抑える	各部署EA委員	2025.6.30
	ネット上のコミュニケーションツールを活用してコミュニケーションを図り、効率化を進める	各部署EA委員	2025.6.30
	作業時の養生及び作業後の清掃	技術課、保安課、幡多支店、aico、佐川営業所	2025.6.30
	車両・倉庫の整理整頓 (車両への不要な道具、工具は積載しない)	技術課、保安課、幡多支店、aico、佐川営業所	2025.6.30
	騒音対策	技術課、保安課、幡多支店、aico、佐川営業所	2025.6.30
	緩衝材処分方法の徹底 → 空気を抜いて小さくたたんで処分	aico	2025.6.30
	LINEや他アプリを活用した情報共有 → 作業効率アップ、紙の使用を削減	各部署EA委員	2025.6.30
	事業所内の見回り活動の実施	各部署EA委員	2025.6.30

目標	具体的活動計画	担当者	期限
一般廃棄物削減	ペーパーレスの推奨	各部署EA委員	2025.6.30
	紙ごみの削減及び再利用(リサイクル)	各部署EA委員	2025.6.30
	タブレット PC を有効に活用する	各部署EA委員	2025.6.30
	事務用品等の詰め替え商品を利用する	経理課	2025.6.30
	PC 及び周辺機器の処分先の選定	アツミ電算	2025.6.30
	大きいビニールの有効活用	aico	2025.6.30
	梱包材の再利用	aico	2025.6.30
産業廃棄物削減	消耗品等の再利用(リサイクル)	各部署EA委員	2025.6.30
	ハギレ、建材の残材を有効利用する	各部署EA委員	2025.6.30
	陶器等廃棄物を回収カゴに入れる場合、かさ張るものは割って入れる	各部署EA委員	2025.6.30
	廃棄物等の分別の徹底と定期的な確認チェックの実施	各部署EA委員	2025.6.30
	材料の選定と無駄の無い使用	技術課、保安課、幡多支店、aico、佐川営業所	2025.6.30
	廃棄物分別の掲示	各部署EA委員	2025.6.30
水使用量の削減	定期的な水漏れのチェック	各部署EA委員	2025.6.30
	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する	各部署EA委員	2025.6.30
グリーン購入	OA 紙・文具等について、可能な限り環境物品を選び、購入する	経理課	2025.6.30
環境関連法規制の遵守	環境関連法規を改めて周知し、遵守することを再確認する	各部署EA委員	2025.6.30

7.環境経営目標の実績

7-1.本年度の実績（2024 年度）

項目		基準データ 2021.7～2022.6	目標値 2024.7～2025.6	実績値 2024.7～2025.6	(実績値/目標値) ×100 (%)
環境配慮商品の 設置割合 (%) ※1		68.0	74.0	71.0	-3.0%
購入電力(kWh)		262,383.0	258,080.0	243,882.0	94.5%
化石燃料	LPG 使用量(kg)	204,860.1	198,993.0	155,028.6	77.9%
	ガソリン 使用量 (リットル)	21,464.6	21,080.0	27,072.4	128.4%
	軽油使用量(リットル)	1,849.0	1,811.0	4,091.0	225.9%
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) ※2		961,881.2	927,706.6	809,109.7	87.2%
一般廃棄物排出量(t)		12.7	12.10	9.51	78.6%
産業廃棄物排出量(t)		167.7	163.7	158.3	96.7%
産業廃棄物 再資源化率 (%)		46.4	85.0	66.5	-18.5%
水使用量(m ³)		2,152.0	2,087.0	2,862.0	137.1%
グリーン購入(%) ※3		62.5	63.5	64.8	1.3%

※1 環境配慮商品は、太陽光発電、ガスコジェネレーション(エコヘイ、エネファーム)、給湯器、コンロ等であり、総設置台数に対する割合である。

※2 購入電力のCO₂ 排出係数は、2025 年 3 月 18 日公表の四国電力の調整後排出係数 0.457(kg-CO₂/kWh) を使用した。

※3 グリーン購入の目標には、コピー用紙を含む。

※4 CO₂ 排出量には、残ガス分を含む。

今年度は、環境配慮商品の設置割合は未達となっておりますが、割合では前年度と同じ 71%となりました。これは新規・解約の顧客の設備内容にも影響を受けます。年々より厳しさを増す物価高騰が続いている状況の中、目標達成に向けてより一層努力してまいります。

LPG とガソリンについては、前年度と同様に LPG は目標達成、ガソリンは未達となっておりますが、これは前年度より、LPG 車・ハイブリッド車よりガソリン車へシフトしている影響が大きく、今後もしばらくの間は同じ状況が続くと思われます(数年前からの LPG 車の製造中止、ハイブリッド車(LPG とガソリン)の不具合・故障が多発によるもの)。

軽油については、LP ガスを配送するトラックの稼働率が大きく伸びたため、このような結果となっております。

一般廃棄物と産業廃棄物については目標を達成しており、前年度に引続き各事業所での取組みの継続が数字に表れた結果となっておりますが、事業所単位でみると達成できていない事業所もありますので、引続き取組みを推進してまいります。

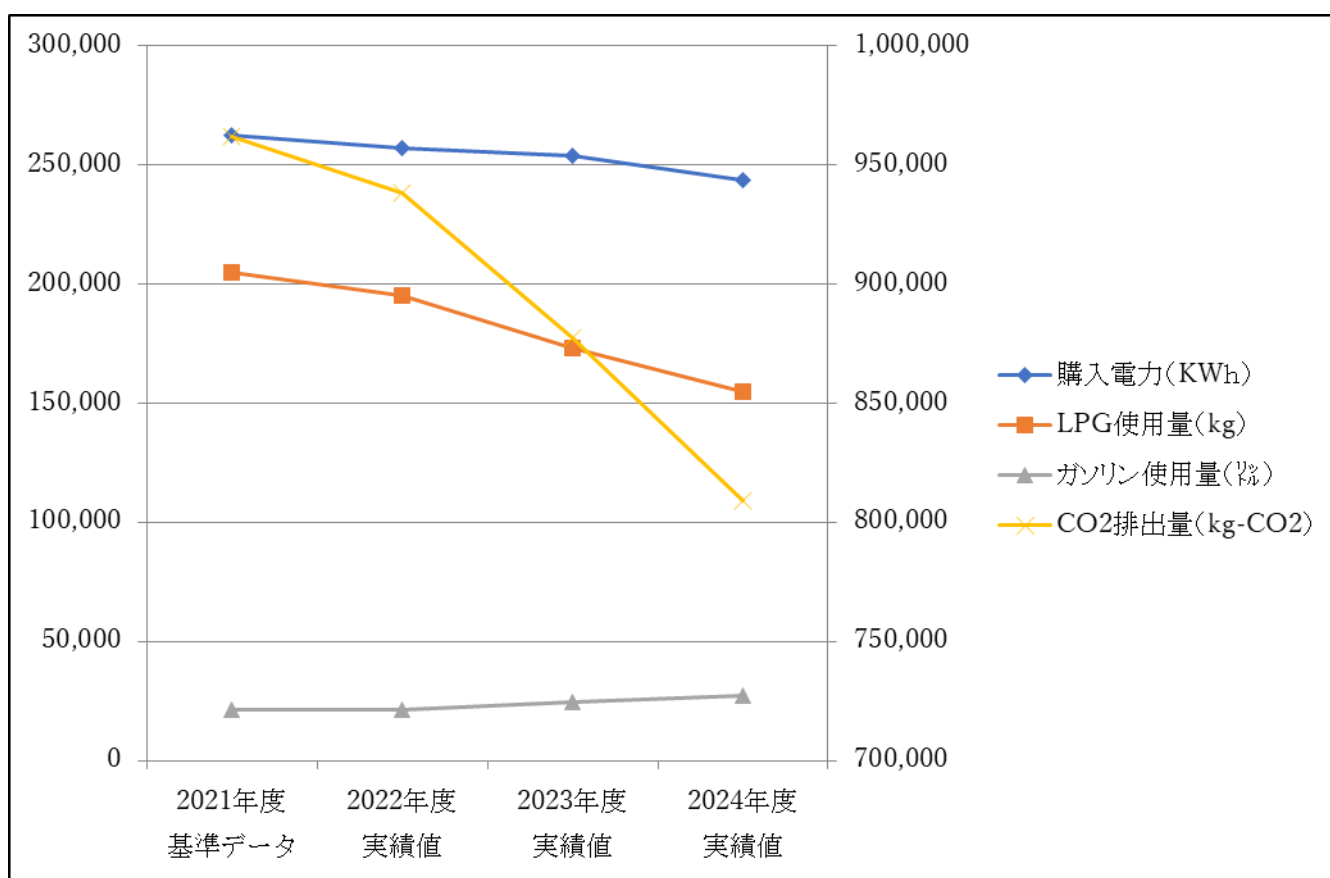
水の使用量については、1事業所でガスタンクの開放検査があり使用量が増加しておりますが、他の事業所においては、前年並みか微減しておりました。

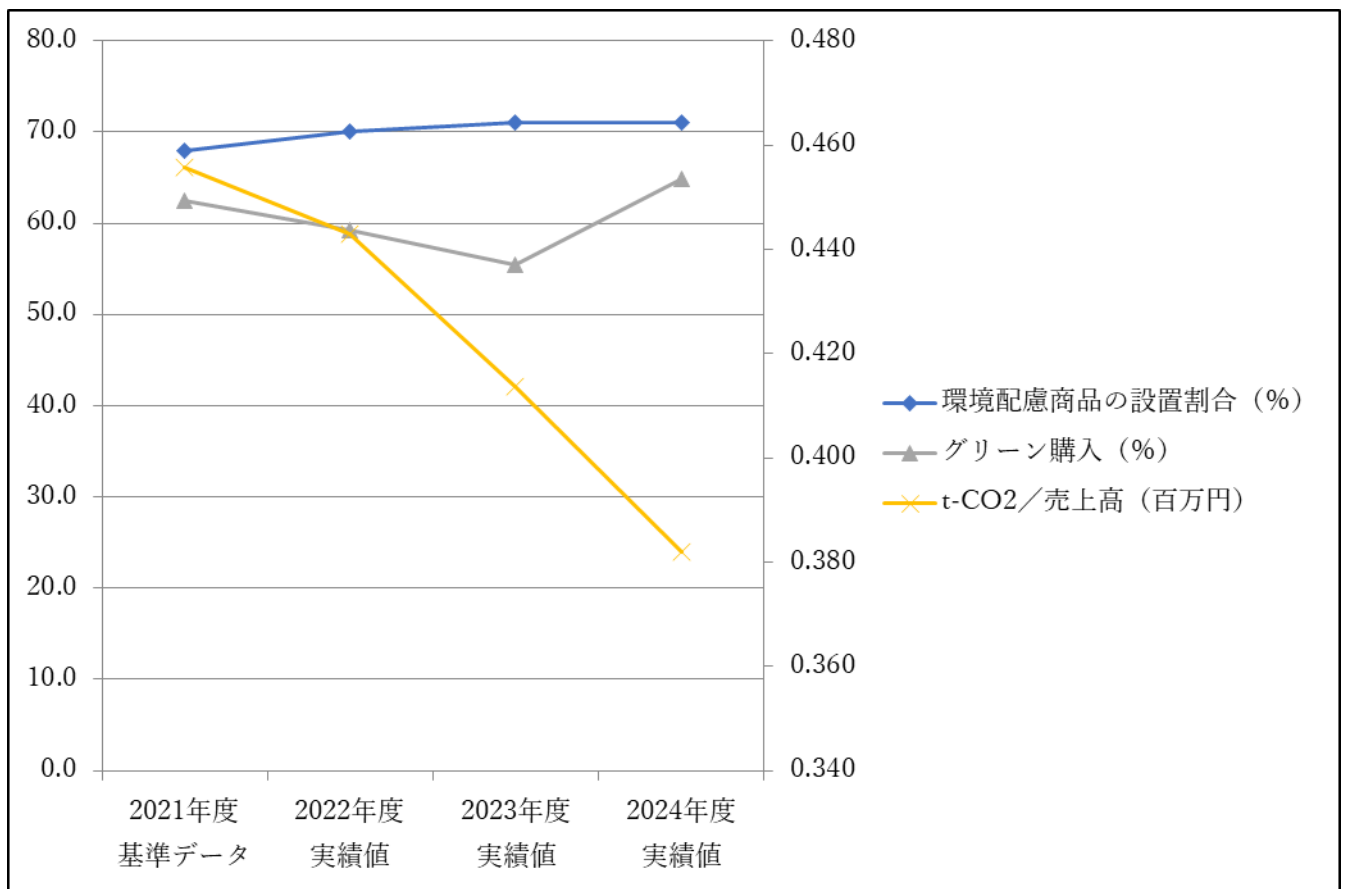
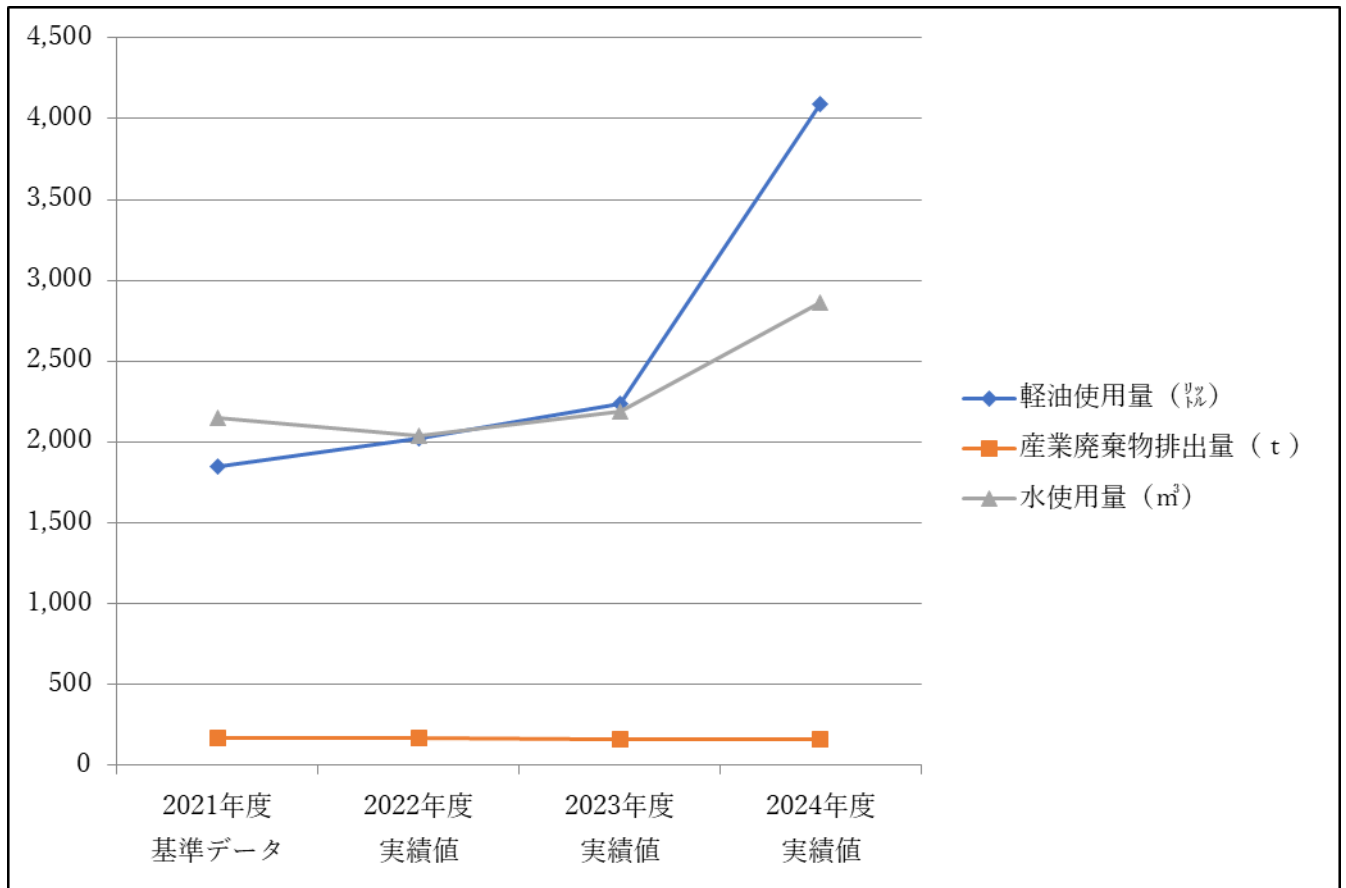
グリーン商品の購入は、ここ数年目標には未達でしたが、これまでグリーン商品として購入していたものの購入が少し多かったことや商品の選定時に検討して購入できたものも若干あり、目標達成となっております。

最後にCO₂ 排出量についてですが、今年度よりCO₂ 排出係数を 0.535(kg-CO₂/kWh)より 0.457(kg-CO₂/kWh)に見直しています(基準データも計画数値も同じく)が、総合的な取り組みにより目標達成となっております。

7-2.過去の実績

項目		2021 年度 基準データ 2021.7～ 2022.6	2022 年度 実績値 2022.7～ 2023.6	2023 年度 実績値 2023.7～ 2024.6	2024 年度 実績値 2024.7～ 2025.6
環境配慮商品の設置割合(%)		68.0	70.1	71.0	71.0
購入電力(kWh)		262,383	257,211	254,040	243,882
化石燃料	LPG 使用量(kg)	204,860	195,348	173,204	155,029
	ガソリン使用量(ℓ)	21,465	21,535	24,544	27,072
	軽油使用量(ℓ)	1,849	2,024	2,240	4,091
CO2 排出量(kg-CO2)		961,881	938,039	877,476	809,110
一般廃棄物排出量(t)		12.7	12.1	11.1	9.5
産業廃棄物排出量(t)		167.7	166.6	160.7	158.3
水使用量(m ³)		2,152	2,039	2,188	2,862
グリーン購入(%)		62.5	59.3	55.5	64.8
売上高(百万円)		2110.6	2117.5	2121.1	2117.7
t-CO2／売上高(百万円)		0.465	0.443	0.414	0.382





8.環境経営計画の取組結果とその評価（2024 年 7 月～2025 年 6 月）

目標	具体的活動計画	取り組み結果	評価	見直し
環境配慮商品の販売・工事、及び PR	床暖房によるウォームシェアの推進	できている	○	推進を継続
	ガスコジェネレーション(エネファーム)	できている	○	推進を継続
	高効率ガス給湯器、ハイブリッド給湯器	できている	○	推進を継続
	Si センサー内蔵型コンロ	できている	○	推進を継続
	太陽光発電、V2H、蓄電池	できている	○	推進を継続
	節水型トイレ商品	できている	○	推進を継続
	LED 照明商品	できている	○	推進を継続
CO ₂ 排出量の削減	エコドライブの徹底	できている	○	現状を継続
	オイル交換の実施を徹底する	できている	○	現状を継続
	照明器具は LED を使用する	できている	○	現状を継続
	使用していない電灯、電化製品を消す	できている	○	現状を継続
	電灯等の消し忘れチェックシートを利用	できている	○	現状を継続
	無理・無駄のない空調器の使用	できている	○	現状を継続
	クールビズ・ウォームビズを推奨し、エアコンの使用を抑える	できている	○	現状を継続
	ネット上のコミュニケーションツールを活用してコミュニケーションを図り、効率化を進める	利用できる部署は利用している	○	現状を継続
	作業時の養生及び作業後の清掃	できている	○	現状を継続
	車両・倉庫の整理整頓(車両への不要な道具、工具は積載しない)	できている	○	現状を継続
	騒音対策	できている	○	現状を継続
	緩衝材処分方法の徹底 → 空気を抜いて小さくたたんで処分	できている	○	現状を継続
	LINEや他アプリを活用した情報共有 → 作業効率アップ、紙の使用を削減	できている	○	現状を継続
	事業所内の見回り活動の実施	できている	○	現状を継続
一般廃棄物削減	ペーパーレスの推奨	できている	○	現状を継続
	紙ごみの削減及び再利用(リサイクル)	できている	○	現状を継続
	タブレット PC を有効に活用する	利用できる個人は利用している	○	現状を継続
	事務用品等の詰め替え商品を利用する	できている	○	現状を継続
	PC 及び周辺機器の処分先の選定	できている	○	現状を継続
	大きいビニールの有効活用	できている	○	現状を継続

	梱包材の再利用	できている	○	現状を継続
産業廃棄物 削減	消耗品等の再利用(リサイクル)	できている	○	現状を継続
	ハギレ、建材の残材を有効利用する	できている	○	現状を継続
	陶器等廃棄物を回収カゴに入れる場合、かさ張るものは割って入れる	できている	○	現状を継続
	廃棄物等の分別の徹底と定期的な確認チェックの実施	できている	○	現状を継続
	材料の選定と無駄の無い使用	できている	○	現状を継続
	廃棄物分別の掲示	できている	○	現状を継続
水使用量の 削減	定期的な水漏れのチェック	できている	○	現状を継続
	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する	できている	○	現状を継続
グリーン購入	OA 紙・文具等について、可能な限り環境物品を選び、購入する	できている	○	現状を継続
環境関連法規制の遵守	環境関連法規を改めて周知し、遵守することを再確認する	できている	○	現状を継続

9.次年度の取組内容

9-1.次年度の環境経営目標

昨年度、基準年及び目標数値の見直しを行い、2021年7月～2022年6月までの実績を基準データとして目標数値を定め取り組んでおります。LPG車とガソリンとLPGのハイブリッド車から、少しずつガソリン車の導入が進んでいます。LPG使用の減少、ガソリンの使用増加が徐々に数値に出てきています。基準値の見直しを状況を見ながら行う予定です。

単年度目標

項目		基準データ 2021.7～2022.6	2025年度 目標 2025.7～2026.6
環境配慮商品の設置割合(%)	※1	68.0	76.0
購入電力量(KWh)		262,383.0	256,790.0
化石燃料	LPG使用量(kg)	204,860.1	197,157.0
	ガソリン使用量(ℓ)	21,464.6	20,960.0
	軽油使用量(ℓ)	1,849.0	1,800.0
CO2排出量(kg-CO2)	※2	961,881.2	921,302.3
一般廃棄物排出量(t)		12.7	11.7
産業廃棄物排出量(t)		167.7	162.4
産業廃棄物 再資源化率(%)		46.4	86.0
水使用量(m ³)		2,152.0	2,067.0
グリーン購入(%)	※3	62.5	64.0

※1環境配慮商品は、太陽光発電、ガスコジェネレーション(エネファーム)、給湯器、コンロ等のことである。

※2購入電力のCO2排出係数は、2025年3月18日公表の四国電力の調整後排出係数 0.457(kg-CO2/kWh)を使用した。

※3グリーン購入の目標には、コピー用紙を含む。

※4 CO2排出量には、残ガス分を含む。

中長期目標

項目		基準データ 2021.7～ 2022.6	2025年度 2025.7～ 2026.6	2026年度 2026.7～ 2027.6	2027年度 2027.7～ 2028.6	2028年度 2028.7～ 2029.6
環境配慮商品の設置割合(%)	※1	68.0	76.0	78.0	80.0	82.0
購入電力量(KWh)		262,383.0	256,790.0	255,510.0	254,530.0	253,900.0
化石燃料	LPG使用量(kg)	204,860.1	197,157.0	195,321.0	194,155.0	193,389.0
	ガソリン使用量(ℓ)	21,464.6	20,960.0	20,840.0	20,740.0	20,720.0
	軽油使用量(ℓ)	1,849.0	1,800.0	1,789.0	1,778.0	1,767.0
CO2排出量(kg-CO2)	※2	961,881.2	921,302.3	914,902.5	910,696.4	908,035.7
一般廃棄物排出量(t)		12.7	11.7	11.6	11.3	11.2
産業廃棄物排出量(t)		167.7	162.4	161.1	159.8	159.0
産業廃棄物 再資源化率(%)		46.4	86.0	87.0	88.0	89.0
水使用量(m ³)		2152.0	2067.0	2047.0	2030.0	2014.0
グリーン購入(%)	※3	62.5	64.0	64.5	65.0	65.5

9-2.次年度の環境経営計画

目標	具体的活動計画	担当者	期限
環境配慮商品の販売・工事、及びPR	床暖房によるウォームシェアの推進	小松・久保	2026年6月30日
	ガスコジェネレーション(エネファーム)	小松・久保	2026年6月30日
	高効率ガス給湯器、ハイブリッド給湯器	小松・久保	2026年6月30日
	Si センサー内蔵型コンロ	小松・久保	2026年6月30日
	太陽光発電、V2H、蓄電池	小松・久保	2026年6月30日
	節水型トイレ商品	小松・久保	2026年6月30日
	LED 照明商品	小松・久保	2026年6月30日
CO2 排出量の削減	エコドライブの徹底	各部署EA委員	2026年6月30日
	オイル交換の実施を徹底する	車輛を有する担当責任者	2026年6月30日
	照明器具はLEDを使用する	各部署EA委員	2026年6月30日
	使用していない電灯、電化製品を消す	各部署EA委員	2026年6月30日
	電灯等の消し忘れチェックシートを利用	各部署EA委員	2026年6月30日
	無理・無駄のない空調器の使用	各部署EA委員	2026年6月30日
	クールビズ・ウォームビズを推奨し、エアコンの使用を抑える	各部署EA委員	2026年6月30日
	ネット上のコミュニケーションツールを活用してコミュニケーションを図り、効率化を進める	各部署EA委員	2026年6月30日
	作業時の養生及び作業後の清掃	技術課、保安課、幡多支店、aico、佐川営業所	2026年6月30日
	車両・倉庫の整理整頓 (車両への不要な道具、工具は積載しない)	技術課、保安課、幡多支店、aico、佐川営業所	2026年6月30日
	騒音対策	技術課、保安課、幡多支店、aico、佐川営業所	2026年6月30日
	緩衝材処分方法の徹底 → 空気を抜いて小さくたたんで処分	aico	2026年6月30日
	LINEや他アプリを活用した情報共有 → 作業効率アップ、紙の使用を削減	各部署EA委員	2026年6月30日
	事業所内の見回り活動の実施	各部署EA委員	2026年6月30日

目標	具体的活動計画	担当者	期限
一般廃棄物削減	ペーパーレスの推奨	各部署EA委員	2026年6月30日
	紙ごみの削減及び再利用(リサイクル)	各部署EA委員	2026年6月30日
	タブレットPCを有効に活用する	各部署EA委員	2026年6月30日
	事務用品等の詰め替え商品を利用する	経理課	2026年6月30日
	PC及び周辺機器の処分先の選定	アツミ電算	2026年6月30日
	大きいビニールの有効活用	aico	2026年6月30日
	梱包材の再利用	aico	2026年6月30日
産業廃棄物削減	消耗品等の再利用(リサイクル)	各部署EA委員	2026年6月30日
	ハギレ、建材の残材を有効利用する	各部署EA委員	2026年6月30日
	陶器等廃棄物を回収カゴに入れる場合、かさ張るものは割って入れる	各部署EA委員	2026年6月30日
	廃棄物等の分別の徹底と定期的な確認チェックの実施	各部署EA委員	2026年6月30日
	材料の選定と無駄の無い使用	技術課、保安課、幡多支店、aico、佐川営業所	2026年6月30日
	廃棄物分別の掲示	各部署EA委員	2026年6月30日
水使用量の削減	定期的な水漏れのチェック	各部署EA委員	2026年6月30日
	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行する	各部署EA委員	2026年6月30日
グリーン購入	OA紙・文具等について、可能な限り環境物品を選び、購入する	経理課	2026年6月30日
環境関連法規制の遵守	環境関連法規を改めて周知し、遵守することを再確認する	各部署EA委員	2026年6月30日

10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部署	遵守状況	確認日
高圧ガス保安法	第26条、第27条	危害予防規程の策定及び遵守、保安教育計画の策定及び実施、保安検査の実施、定期自主検査の実施	日々	横浜ガスセンター 窪川工場 清水工場	遵守	2025. 6.30
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律	第18条、第27条、第37条6	保安教育の実施、一般消費者等に対して保安業務の実施、保安検査の実施	日々	保安課 佐川営業所 幡多支店	遵守	2025. 6.30
ガス事業法	第30条	保安規程の遵守	日々	保安課 佐川営業所 幡多支店	遵守	2025. 6.30
消防法	第17条3の3	消防用設備の点検	1年	横浜ガスセンター 総務課	遵守	2025. 6.30
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条、第12条の3、第12条の3第7項	マニフェストの管理、契約書の締結、マニフェスト交付状況報告、保管場所の表示	毎年6月末	総務課	遵守	2025. 6.30
地球温暖化対策の推進に関する法律	第5条	温室効果ガスの排出の抑制	1ヶ月	各部署	遵守	2025. 6.30
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	物品等の購入に際して、環境物品等を選択	1ヶ月	発注者及び総務課、経理課	遵守	2025. 6.30
使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	第8条、第73条	使用済自動車の適正な引渡し、リサイクル料金の支払等	社有車の車検時及び廃車時	総務課	遵守	2025. 6.30
浄化槽法	第10条 第11条	浄化槽の適正管理 指定検査機関の行う水質に関する検査の実施	1年	総務課	遵守	2025. 6.30
建築基準法	第6条	工事基準の遵守 各種申請手続きの適正処理	日々	aico アクア	遵守	2025. 6.30
建設業法	第3条	建設業の許可と更新	許可と5年ごとの更新	総務課	遵守	2025. 6.30

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部署	遵守状況	確認日
家電リサイクル法	第9条 第10条	特定家庭用機器の適正処分	指定業者に処分依頼	aico	遵守	2025. 6.30
高知県環境基本条例	第6条	事業活動を行う事により発生する公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するため、廃棄物を適正に処理するなどの必要な措置を講ずる	日々	各部署	遵守	2025. 6.30
高知市環境基本条例	第5条	廃棄物を適正に処理するなど、事業活動に伴う環境への負荷の低減に努める	日々	本社、aico 横浜ガスセンター 北萩町オートガススタンド	遵守	2025. 6.30
四万十市環境基本条例	第5条	環境への負荷の低減その他環境の保全に自ら努め、市が実施する環境の保全及び創造に関する施策に協力する	日々	幡多支店	遵守	2025. 6.30
四万十川条例	第7条	流域内において行う事業活動に関し、四万十川の保全及び流域の振興に自ら努めるとともに、県又は流域市町が実施する四万十川の保全及び流域の振興に関する方策に協力	日々	幡多支店	遵守	2025. 6.30
宿毛市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	第4条	廃棄物を自らの責任において適正に処理する	日々	宿毛営業所	遵守	2025. 6.30
四万十町環境基本条例	第5条	廃棄物等の処理その他の公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するために必要な措置を講じる。	日々	窪川工場	遵守	2025. 6.30
フロン排出抑制法	第16条	第一種特定製品についての定期点検の実施、簡易点検の実施（3ヶ月に1回）	定期的	本社、aico 横浜ガスセンター 佐川営業所 幡多支店	遵守	2025. 6.30

環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2024年7月より2025年6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。かつ過去3年間ありません。

18. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

実施日： 2025 年 10 月 16 日

■ 定期見直し（事業年度終了後）
□ 臨時見直し

代表者サイン

小松 亜弓



見直しに必要な情報				代表者による見直し	
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項	
[取り組み状況の評価結果] ①環境関連法規等の遵守状況 2024年度終了後に定期評価を実施した結果、環境関連法規等は遵守されている。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 是正処置及び予防処置となるものはありません。				[環境経営方針] 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 当社は、「お客様にやすらぎと感動のあるくらしの創造し提供する」という経営理念のもと、ガス供給・住宅改修・介護福祉など、さまざまな分野でお客様と関わりながら、環境問題にも取り組んできました。さらなるCO2排出量削減に向け、環境配慮商品の普及により尽力し、環境にやさしい車両を使用したエコドライブの実施やオフィスでの節電・節水など、これまで以上に高い意識を持って取り組んでまいります。	
[環境経営目標・環境経営計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)				[環境経営目標・環境経営計画・環境管理実施体制] 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 環境管理実施体制については特に変更ありません。	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)	[その他] 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
環境配慮商品の設置割合	△	○	目標に未達も堅調に推移している		
購入電力の削減	○	○	目標未達の事業所もあったが、主要事業所で達成しており全体では目標クリア		
LPG使用量の削減	○	○	LPG車が徐々に減少		
ガソリン使用量の削減	△	○	LPG車からガソリン車へシフト		
軽油使用量の削減	×	○	台数は少ないが、年々トラックの稼働率が上昇		
CO2の削減	○	○	未達の事業所もあったが、全体での目標はクリア		
廃棄物の削減	○	○	前年度より微減		
総排水量の削減	△	○	1事業所でガスタンクの開放検査があり増加 他事業所は前年度並みか微減		
グリーン購入の推進	○	○	商品選定時の検討継続により達成		
<改善への提案> 目標は未達だったものの環境配慮商品の設置割合は、年々堅調に推移している。若手社員の成長もあり、この育成をより進めながら、当社の最重要事項となる環境配慮商品の普及に向けて引き続き取り組む。昨年度より、ガソリン車へのシフトを進めているため、その影響が数値に表れている。若年社員の事故が多くなっており、より安全運転とエコドライブを推進している。数年前より継続している各部署での取組項目に対する話し合いは継続して実施し、エコに対する意識向上と継続を図っていく。				[総括] 今年度は、環境配慮商品の販売・普及については、目標には届かなかったが堅調に推移している。ここ数年、若手社員の成長もみられているので、最重要事項と位置付ける環境配慮商品の販売・普及に向けて、引続き全社員で取り組む。 反面、若手社員の事故が多くなっているため、安全運転の推進・指導をより徹底して実施し、また、エコドライブに取り組むことで事故の減少と燃料の節減につなげていきたい。 ここ数年、環境経営目標項目についての各部署での話し合いを継続して実施しており、新入社員や若手社員もエコに対する意識が高くなっていると感じる。目標項目一つ一つに意識を向けて各部署で話し合いを持つことにより、その項目に対してより意識して取り組めるようになり、社員一人一人のエコに対する意識の向上と維持を図れている。→ 今後も継続して行う。 環境経営システムは正常に機能しており、今後もこのサイクルを活かした取組みの改善を行い、目標値の達成を目指し環境経営活動を継続する。	
[周囲の変化の状況] ①外部コミュニケーション記録より 2024年度において、環境に関する苦情はなかった。 ②環境関連法規制等の動向他 特になし。今後も法規を遵守し適正に処理していく。					